

普通科生物23班

ザ・紫外線プロジェクト ~日焼け対策への道のり~

班員 佐藤李幸 林田悠里亜
佐藤沙樹 宮下優志 中井翼

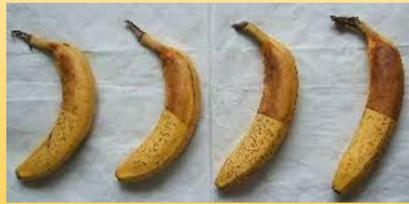
指導者 野崎久美子先生
岩室貴詞先生

研究の動機

衣類の生地素材によって紫外線の透過率が変わることから日焼けしにくい生地を見つけ快適に暑さを乗り越えられるようにしたいと思ったから。

先行研究

グローバルビューティークリニックのサイトより、天然素材より合成繊維の方が紫外線を通しにくいと言われている。



研究方法

- ・人と遺伝子が約60%同じといわれているバナナを使う。
- ・バナナに綿と麻、ポリエステル、ナイロンの4種類の生地を巻く。
- ・UVライトに15分あてる。
- ・バナナの色が変わっているのかを調べる。



必要な道具

- ・麻
- ・綿
- ・ポリエステル
- ・ナイロン
- ・バナナ
- ・UVライト



仮説

部活動での経験から、アンダーシャツなどに使われているポリエステル素材は紫外線を通しにくいと考える。



研究計画

- ・一本のバナナに違う素材で実験
- ・五回分のバナナを用意
- ・6~7月に生地を1枚での実験
- ・9~10月に生地の厚さを揃えての実験

4~5月	研究資材を集める バナナと紫外線の関係
6~7月	実験
夏休み	考察
9~10月	生地の厚さを揃えての実験
11~12月	考察—すべてのまとめ

参考文献

- ・グローバルビューティークリニック
<https://global-beauty-clinic.com/column/protect-from-uv-with-masks>